

10th
Anniversary

訪問看護ステーション 絆

Since 2011



株式会社 絆
訪問看護ステーション 絆

〒611-0002 京都府宇治市木幡西浦34番地4
TEL 0774-66-1795

ホームページ



<https://kizuna-nurse.com/>

ごあいさつ

2011年(平成23年)2月「株式会社 絆」設立、同年6月13日「訪問看護ステーション絆」開設、2021年の今年、「絆」は10周年を迎えることができました。

地域の先生方、居宅介護支援事業所のケアマネジャー様、介護保険サービス事業所の皆様、ご利用者・ご家族、地域の皆様など多くの方々そしてスタッフの支えがあり今があることに心から感謝しています。

私が幼少時代から育ち、住み慣れた大好きな宇治市で「訪問看護がしたい! 訪問看護が持つ力、魅力をもっと知って欲しい! 同じ看護観を持つ仲間と地域に根差した訪問看護ステーションを創りたい!」という夢が叶い、気が付けば10年の月日が流れていました。最初は3人のスタッフでスタート、入れ替わりはありましたが現在6名のスタッフになりました。

10年を振り返ると、走馬灯のように色々なことが思い出されます。開設のごあいさつに伺った時に「株式会社なのに訪問看護なのか! お金儲けが目的か」とお叱りを受け、訪問看護の指示書を書いていただけない先生がおられ、何度も説明させていただき、ようやくご理解いただいたこともありました。そして私達が日々、ご利用者・ご家族との関りを重ねる中で信頼してくださり、その後は私達を気にかけて支えてくださいました。

一人暮らしで癌の末期の方、夜中の緊急コールで駆けつけると、お辛いのにとびっきりの笑顔で迎えてくださりその笑顔に元気をいただいたこともありました。

地元の商店街の方々やディサービスの事業所と職種を越えてつながり、秋祭り、ハロウィンなどのイベントを企画・運営し地域の皆様とのつながりを感じることができました。

そして、人生の最期の時間を伴走させていただいたご家族が、時折事務所を訪ねてくださり思い出話に花が咲いたり、知人や他のご家族のことで相談に来られたり、訪問看護が終了しても思い出して下さりつながっていること! このことが私、そしてスタッフにとって何より訪問看護を続けてきて良かったな! と思える瞬間です。この絆をこれからも大切に紡いでいきたいと思っています。

私の大好きなフローレンス・ナイチンゲールは、「看護とは、私たちが年ごと月ごと週ごとに「進歩」し続けないかぎり、まさに「退歩」していると言える、そういうものなのである」と教えてくれています。これからの10年は、新たな夢に向かって、これまでの経験や絆を土台に積み上げていくことを心に誓いました。立ち止まることなく前に進み進歩し続ける「絆」でありたいと思います。

人生の最期まで住み慣れた場所で、その方がその方らしく笑顔で安心し過ごせるように、私達ができる精一杯の看護をお届けできたらと思っています。まだまだ力不足ではございますが、スタッフ共々これからもよろしく願い致します。

株式会社 絆 代表取締役
訪問看護ステーション 絆 管理者

金澤 克枝



絆の理念

わたしたちが大切にしていること

1 寄り添う看護

一緒に笑ったり、悩んだり、怒ったり、悲しんだり
喜怒哀楽をともにし、
最期までその方らしく
住み慣れた場所で過ごすことができるように
寄り添う看護

2 あきらめない看護

ご利用者・ご家族が笑顔になれるように
どんな状況でも
ご利用者の持つおられる力を引き出せるように
前向きにあきらめない看護

3 一期一会の看護

ご縁があって出逢えたことに心から感謝
今、この瞬間、自分達ができる精一杯の看護を
心を込めて届ける
一期一会の看護



2月18日 株式会社 絆 設立

この年3月11日に
東日本大震災があり
「絆」という言葉が一躍有名に
訪問看護ステーション絆は
その前に決まっていた名前でした



たくさんのお祝いのお花をいただきました

6月13日 訪問看護ステーション絆として認可が下りました

その日を持って訪問開始
スタッフ3名で始めました
開始当初は利用者もまだ少なくゆっくりとしていたのですが
徐々に利用者数が増えてきました

◀ 初代ユニフォーム

2011
(平成23年)



8月13日

宇治市豪雨災害

事務所の近くの弥陀次郎川があふれて事務所の玄関前まで水に漬かる
当日は離元橋から事務所まで1時間以上かけてやっと辿り着きその後の訪問調整が大変
幸い、利用者さん宅の被害もなくホッと

2代目ユニフォーム



1月

お正月にめずらしく大雪が降る
雪の中、スリッパないように
気を付けながら訪問しました

6月

ユニフォームを変更
心機一転



2月

北村ナース就任

7月

七夕の飾りつけを始める

10年目の今年も
毎年利用者さんの願いが叶うようにと
続いています

2012
(平成24年)

2013
(平成25年)

2014
(平成26年)

2015
(平成27年)

2016
(平成28年)

2017
(平成29年)

2018
(平成30年)

2019
(平成31年、令和元年)

2020
(令和2年)

2021
(令和3年)

未来へ

京都府看護協会基金事業
くらしあんしん療養相談室 が開始

2021年3月

訪問看護
研究発表会に参加

看取りを経験されたご家族
約30名にご協力いただいて
研究発表につなげました

看護研究をまとめるために遅くまで残ってスタッフみんなで話し合い、
大変ではあったのですが、研究する中でその方々との思い出や自分
達の行ってきた看護を振り返ることが出来、非常に有意義な時間を
持つことが出来たと思っています。



訪問看護師と行うエンゼルケアの
経験が家族の死別悲嘆に与える効果
～一歩前進を促している～
今後の在宅療養
在宅看取りを推進
遅くまで残って作り上げた
プレゼン資料

7月

こはタウン
夏祭り参加

10月

こはタウン ハロウィンイベント参加

絆のスタッフも仮装してイベント参加

RUN伴にも参加 頑張って走りました!

翌年の「看護研究発表」に向けて
取り組み開始

12月の発表原稿提出前は毎晩遅くまで残って
皆で取り組みました



水盛況の夏祭り



6月

10周年を記念し
スタッフだけでささやかに祝い

10年目を迎え 絆事務所の老朽化(?)トイレのレバーが破損!
トイレが使えなくては訪問にも行けないため急遽応急処置
そこにあるもので何とかするのも訪問看護師の強み(!?)



IT化に向けて 電子カルテ導入
絆の家 設立に向けて構想中



ご近所さんの癒し

ご縁があって利用者さん宅から
絆へやって来た
「きんさん、ぎんさん」が登場

11月

東京で行われた
訪問看護サミットに研修旅行

研修後、お留守番してくれているスタッフに
申し訳ないと思いつつながら
箱根で美味しいものを食べて楽しみました



6月

5周年記念パーティー

多くの方に参加していただき感謝です
多くの方へ支えてもらってこれからも頑張ろうと決意を新たにしました
スタッフ一丸となって披露したハンドベルはハラハラしながらの演奏
でしたが、無事に演奏が終わって温かい拍手をいただきました



7月

緩和ケア訪問看護ステーション
架け橋さんと合同の勉強会
定期的に数か月毎に行いました



9月

おはなと絆の小さな秋祭り

この時から「小さな小さな写真展」が始まりました
今も絆の壁には四季折々の
写真が飾られています



勉強会

絆の2階で地域の訪問看護スタッフ
や介護職、ケアマネジャーに声を
かけて勉強会を実施



11月

小辻ナースが就任

定期巡回随時対応型訪問介護看護
ハーモニーやまはたと勉強会を重ね業務提携が始まる



小辻ナースがちはや姫に!



10月

ご近所さんと
秋祭り

11月

亡くなられた利用者さんのご主人が演奏される
音楽会に招待していただき皆で音楽鑑賞



この年、新型コロナウイルス拡大

当初はマスクや消毒用アルコール、ガウンなど
物品が全く手に入らず身近なものを代用したり...
毎朝、出勤すると掃除とともに
手作りマスクを作成してからの訪問の毎日



5月

くらしあんしん療養相談室に
新田相談員就任

絆掲示板作成!

地域の皆様にいろんな情報をお
伝えできるように頑張っています



7月

廣田ナース、太田ナースが就任

3代目ユニフォーム
現在のユニフォーム



“和と絆”

大石医院 大石 嘉啓 先生

開設10周年おめでとうございます。“きはだ”で5周年の集いを開催され5年が経ちますか?早いですね。私も昭和57年に自宅に戻り父の後を継いで開業して患者さんを往診して在宅で看取ろうと思いました。しかし、医者だけでは十分な在宅医療は出来ません。その当時まだ介護保険がない時代で、黄檗病院で訪問看護をされていた新田さん、金澤さんと連携して頂き数多くの患者さんを在宅で看取れました。医者だけでは出来ない患者さんの思いや介護者・家族とのお話をきめ細かくサポートして頂きありがたかったです。

今、開業して40年近くになります。時代は変わり、少子高齢化、核家族化になり在宅での看取りが少なく?なり、病院や介護施設の入所が多くなる現状が見られます。自分の思いと異なる最期を迎える状況が考えられますが、まだ、しばらくは高齢化が進みます。家庭内で自分の最期を如何に見て頂けるか話し合いを常に頂く必要があると思います。

私は後何年出来るか分かりませんが?絆さんにはまだまだ通過点です。引き続き在宅医療を頑張って頂きチームが一つになって、一人でも多くの患者さんや家族を見守って下さい。

開設10周年おめでとう

かどさか内科クリニック 門阪 庄三 先生

10年前に、当地(東宇治)の訪問看護ステーションは病院立の訪問看護ステーションしか無かったように思います。その中で絆は立ち上がった。そして絆が歩んだこの10年間で約2倍に増えたと言われている在宅患者のことを考えると、もし絆があの時立ち上がっていなければと想像すると慄然とします。それくらい時期を得た開設であったと思います。

そう考えると、絆の開設は時代が要請したと言えるかもしれません。事業の始まりが個人の夢や決意から始まることは言うまでもありませんが、それだけではないこともあります。世が人を押し出すことだってあります。その時その事業は自ずと市民に受け入れられ、市民が助けてくれるようになります。

まさに絆はそうなっているように思います。

あと20年は在宅患者数が減ることはありません。癌の方や認知症や心の病を持った方への訪問看護、それから今、私たちが直面しているコロナ禍の自宅療養の方への訪問看護などその役割は時代により変化し、幅広くなってきます。

時代が訪問看護を求めています。そしてそれに答えることで私たちは前に進むことができます。これから先の東宇治の訪問看護を引っ張ってください。

開設10周年おめでとうございます

医療法人社団神野医院 じんのクリニック 神野 君夫 先生

いつもお世話になっております。

訪問看護ステーション絆は同じ宇治地区で在宅医療活動しているものとして、いつも地域に根差した、医療、看護を提供される施設として認知されています。

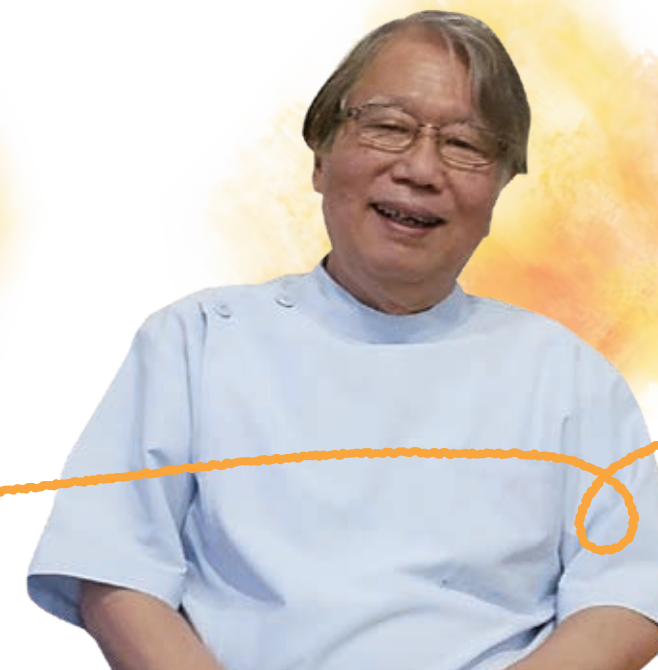
この10年間の在宅医療、看護については、対象となる患者さんの重症度、介護度の高い患者さんたちが増加し、さらに専門性の高い看護を必要とされています。2025年問題を前に、さらに高い専門性を必要とする看護もありますが、より集約的なチームの一環として訪問看護の役割は大きく、医療と介護の橋渡しは殆ど訪問看護が担うことになっています。訪問看護ステーション絆が地域の訪問看護の中心として、さらに発展していられることを希望します。私も今年から再度医師会の在宅医療担当になり、毎月の強化型チームの勉強会以外にも研究会等絆に期待するところがあります。20年前、10年前と比べて訪問看護を含む在宅療養は大きく変わってきています。訪問看護ステーション絆が在宅でのチーム医療の要となっていられることを願っております。

最後にお互いこの地域で頑張りましょう。よろしくお願ひ致します。

開設10周年のお祝いに向けて

中田医院 中田 哲雄 先生

絆さん、開設10周年を迎えられたこと大変うれしく思っています。実は当院も昨年3月に開設20周年記念祝賀会を催す予定でしたが、コロナ感染の影響以外の理由もあってそのまま中止しました。本当にこのコロナ感染は私たちの日々の日常生活の風景を激変させました。何か過去には戻れなくなっています。さらには医療介護に関しても、IT化による厳しい規制が進行しています。コロナ感染に関しても、G-mis、HER-SYS、V-sisなどという誰が管理しているのかもよく分からないITシステムに向かって毎日数量の入力を強制されています。疑問があっても専門外のコールセンターのオペレータにぶつけるしかない状況です。我々医療関係者が生の現場で直面している現実とは異なる異質な世界、すなわちデジタル信号を扱うAIによる情報統制された世界が今ここに現出されてきたかのごときです。このような時代潮流にあっても、絆の皆さん方とともに、医療現場で生の現実を共有したいと思っています。



ともに歩ませて頂いた10年間

医療法人社団
中村医院 院長 **中村 斉 先生**

開設10周年おめでとうございます。私は平成22年1月より現在の診療所で勤務しておりますが、ほぼ同時期とともに歩ませて頂いていることとなります。

開業前は宇治病院で内科医師として勤務しておりましたが、当時は訪問診療についての経験が浅く、言われた通りに在宅に行き診察し、入院が必要になれば主治医となって診察するといった程度の医師でした。開業医となり、本格的に訪問診療に携わる中で、訪問看護師さんより在宅患者さん情報を頂くことの大切さを日々実感しております。約10年間で多くの訪問看護ステーションの看護師さんと仕事をさせて頂いておりますが、その中でも絆さんはトップクラスの訪問看護ステーションだと思っています。

金澤さんを中心とし、万福さん、小辻さん、太田さんには常日頃より細やかな情報をメール、FAX、電話等で頂き、診療に役立たせて頂いております。在宅において看取りは大変重要な診療ですが、患者さんやご家族へのケアをする中で、絆さんが一緒にいてくださるだけで心強く、頼もしい存在です。患者さんへの想いの強さやチームワークの良さが患者さん、ご家族にとってとても安心感を与え、絆さんに看てもらって良かったと思われています。新田さんが顧問に就任され、さらに強力な布陣となりました。これからは私のNo1ステーションであり続けて頂くことを切に願います。今後ともに歩ませて頂ければ嬉しく思います。よろしくお祈り致します。



訪問看護ステーション絆の皆様と共に

医療法人社団正裕会
まつだ在宅クリニック **松田 かがみ 先生**

“絆の金澤と申します”・・・と優しい声でゆっくりと話されました。開業してまだまだ日が浅く日々の往診に邁進していらっしゃる頃、お出合いいたしました時のことを思い出します。

優しいお声掛けに、初回訪問、初対面の患者様宅に優しい空気が満ちていくのを何度も経験させて頂きました。訪問看護ステーション絆の魅力の全てはここに原点があると感じております。所長の金澤さんに続き、お会いするスタッフの方々皆様が同様の‘優しいオーラ’をお持ちだったことにも感銘を受けました。あの時から、10年です。

何人もの患者様に一緒に関わらせて頂きました。認知症・独居で生活が破綻している方、難病の方、癌末期の方、お看取りの方等多くの方がおられました。どんな治療が良いか、どんなケアが必要か、どんなアドバイスが適切か、その都度意見交換させて頂きました。その中で、在宅患者様には色々な視点からのサポートが必要で、医者の見解だけでは良いサポートにならないことも教えて頂きました。

在宅医療で大切なことは、患者様にいかに‘安心’をご提供するか、だと感じています。これは一番大切なことであり一番難しいことでもあります。訪問看護ステーション絆は日々の看護の中で‘安心’を提供されておられます。

年々、医療依存度の高い患者様が増え、在宅での医療的な処置も多くなってまいります。日々新しい知識を更新し続けて行かなければならない状況でもあります。今を、そしてこれからの地域の訪問看護を先導して行かれることとご期待申し上げます。まつだ在宅クリニックの開設から12年目ですが、ほぼ共に歩んだ10年と感じております。本当に大変お世話になっており、感謝の念に堪えません。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後のご活躍を祈念いたします。



住み慣れた地域で暮らし続けられること

宇治市健康長寿部 **藤田 佳也 部長**

訪問看護ステーション絆、開設10周年おめでとうございます。金澤さんが地域の中の地域に寄り添う訪問看護ステーションを目指して立ち上げられてから10年がたったのですね。10年前のもう少し前に当時の宇治市介護保険課でお勤めいただいていた時に、「早い時期に地域に役に立つことがやりたいのです」と熱く想いを語っておられたことを思い出します。

当時、訪問看護ステーションは医療法人系列しかない中で、地域の医療介護連携の動きもごく一部のものでした。その中で「絆」が一步步、地域の医師の先生たちやケアマネジャー、事業所の理解を得て、たとえ末期のがんがあっても、認知症が進んでも、最期まで住み慣れた家で、今まで共に過ごしてきた人たちと交わり続けながら暮らしていくことができるということを身をもって示したこられた10年間だったと思います。

この10年の間に市民の在宅医療、介護に対する理解や望みも高まり、在宅での看取りも少しずつ進んできたとはいえ、一方で「やっぱり最後は病院」というケースも多いのも現実です。在宅であれ、病院であれ、いろいろな選択肢があってそれを本人の意思で選ぶことが当たり前になるためには、まだまだ課題は山積しています。金澤さんが強く望んでおられる「看取りの家」もその課題を解決していくための一つだと思います。超高齢社会が進行していくなかで、ずっと住んできた場所で、家族や地域の友人たちのなかで暮らし続けられること、それが本当に素朴な、そして大切なみんなの願いだと思います。

【追記】 この原稿をお渡しして数日後に、妻の父が95歳の生涯を閉じました。亡くなる2週間前から「外出先で立ち上がることができなくなった」「腎機能の低下といわれている」「緩和医療をすすめられた」などと、5年前に膀胱ガン手術をして以降も90歳代半ばにしては非常に元気に過ごしていただけに、一体何が起きているのかという状況で、私の妻（二女にあたる）も急いで帰省しました。

通院時に病院の主治医から緩和病棟への入院を勧められたのですが、妻の父自身も「入院なんかしない」。妻の母も「新型コロナウイルス感染症の影響下にあるこんな状況で入院なんかしてしまつたら、もう二度と会えないかもしれない」という強い思いがありました。

急速それまで経験したことのない、要介護認定申請、訪問看護・医療、ベッドの搬入などなど、あわただしく手続きが進む間も、義父は衰弱が進みました。それでも居間の隣に据えられたベッドのまわりを、義母、二人の娘、孫、ひ孫に囲まれておじいちゃんへの呼びかけやみんなでの写真を撮った翌朝に静かに息をひきとりました。レンタルベッドに寝ていたのは2日だけ、少し調子が悪いといわれてからたった2週間でした。

その後、訪問看護師によるエンゼルケア、身支度を経ての通夜、告別式、その後の年金や相続の手続きに義母と娘二人が翻弄されています。それにしても、最期を自宅で多くの家族に囲まれ見守られながら、本人が望むように逝くことができた義父は幸せだったと改めて感じました。事前指示書などを通じてあらかじめ家族内で話し合っていたわけではありませんでしたが、新型コロナウイルスのまん延が、逆に在宅での最期を選択できたことになったともいえます。私の拙い在宅医療・介護の知識も少しは役に立ったかもしれません。

「絆」のみなさんも、さまざまな当事者の想いをくみとりながら、進んでいってくださることを願っております。更にこれからの10年が「絆」にとって、飛躍する10年になることを願っております。



ともに歩んだ10年

私たちの！地域の！

『な・か・ま』



株式会社在宅緩和ケアオフィス架け橋
緩和ケア訪問看護ステーション架け橋
代表 濱戸 真都里

Title

【人と地域と心をつなぐ絆】

この度は開設10周年 誠にありがとうございます。
当初は当方架け橋のスタッフと合同で、事例検討やマッサージの実技練習など一緒に勉強会をしていましたね。
いつしか互いに多忙となり一同が集まることは難しくなりましたが、看護協会や訪問看護ステーション協議会の活動などで顔を合わせると、何だかほっとしたような気持ちになったものでした。それは「幼なじみ」のような感覚に似ています。
同じような時期（ちなみに架け橋は今年13年目になりました）に独立開業し、自身の住む地域で、自身の大切にしたい看護を届ける活動をお互いに続けてきました。
会社組織の健全な労務、財務、経営、運営に加え、人材確保や看護の質向上への取り組みなど経営者と実務管理者としての苦労が絶えない10年であったと思います。
「絆」さんの発展は、代表者金澤さんの持前のポジティブシンキングと利用者の方々を大切にす気持ち、同じ思いを持ち活動されているスタッフの皆さまの日々の努力の賜物であり、それはまさしく「人と地域と心をつなぐ絆」の実践であったと思います。
組織が10周年を迎えれば10の年齢を重ねたことになり、体力気力も気になるお年頃になりますが、これからも情熱の炎を燃やし続けながら共に切磋琢磨していきましょう。そしてそれが、次世代を担う素敵な訪問看護師の育成につながることを願って…

Title

開設10周年おめでとうございます

金澤さんが「絆」という名前でステーションを立ち上げたとき聞いた時、なんと金澤さんらしいなと思ったことを、最近の絆のホームページを見て思い出しました。「手と手を合わせて寄り添う看護の心」今この時こそ、必要なものだと思います。
5周年記念パーティーの時、365日の紙飛行機をみんなで大合唱して、一日一日積み重ねて5年、街に溶け込み、暮らしを支える「暮らしの保健室」を充実させ、地域貢献もされています。忙しくされている皆様ですが、しっかりとされていて、丁寧で、優しい又、笑顔が素敵なんです、絆の皆さん、この皆さんの魅力が金澤さんなんだと思います。
人とつながること、寄り添うこと、日々の中に、生活の中にその人がいること、これを大切に、病だけを取り上げるのではなく、その人を知り寄り添う心が、そのことが、絆の皆さんの原動力となり、ストレスを感じることなく、看護されている姿、ほんとに尊敬します。
これからも訪問看護師のお手本として、突き進んで、引っ張って行ってください。
10周年、ほんとにおめでとうございます。

医療法人社団一心会
訪問看護ステーション とくら
所長 高橋 由美



東宇治南地域包括支援センター
センター長 波戸辺 晃子

Title

愛燦燦と～絆10周年にあたり～ 10周年おめでとうございます

私は、絆訪問看護ステーションを思い浮かべるといつもこの曲が頭の中に流れます。優しくそして強く、看護という角度から利用者や地域、そして医療福祉関係者にも温かく寄り添っていただいているからだと思います。
東宇治南圏域は、高齢化率30%を超え、3人に1人は高齢者の地域となりました。今や医療福祉分野だけでなく、企業や学校など社会全体で「地域」を意識した取り組みが推進されています。そのような中、身近な訪問看護ステーションとして地域の方々に広がり、今では地域住民さんから直接相談が入るなど、身近な保健室のような存在です。
地域包括支援センターにとっても、専門的なアドバイスや支援また連携していただき、病気を看るだけでなく、その人の生活や大切にしてくられたものも同様に大切に考えていただけることが何よりもありがたく感じています。「愛燦燦と…」 温かな繋がりに感謝し、ますますのご活躍をお祈りいたします。



東宇治北地域包括支援センター
主任介護支援
専門員 園村 雅裕

Title

10周年おめでとうございます

訪問看護ステーション絆開設10周年おめでとうございます。開設された当時、私は居宅でケアマネジャーとして働き、間もなくの頃でした。がん末期で在宅生活強く希望されている利用者様の訪問看護をお願いして、ケアマネジャーとしてまだ慣れていない私と共に利用者さんやご家族の思いの傍に暖かく寄り添い迅速に動いて頂き、とても心強かったことを思い出します。その後も、沢山一緒に動かせてもらいました。この文書を書きながら、共に動かせて頂いた利用者様や家族の方のお顔が浮かんで来て、心が温かくなってきました。1日一緒に訪問看護の援助に同行させてもらって研修をして頂いたこともありました。この1日の研修はとても貴重な体験で、その後のケアマネジャー業務に大変役に立ちました。現在、私は東宇治北地域包括支援センターにおり、直接一緒に動かさせてもらう機会は減りましたが、この東宇治地域をよりよい地域にするため、これからも共にごんばっていきましょう。

Title

10周年おめでとうございます

黒のスーツ姿で「そら」に挨拶に来ていただいたから、早いもので10年の月日が経ったんですね。その頃を少し思い出してみると・・・「制度は、後からついてくるもの」と言う話をさせて頂いたのではと思っています。障害福祉は障害のある人の願いをもとに、関係機関の協力で作業所やグループホームをつくってきた経過があります。
この10年で障害分野の状況も徐々に制度化がすすみ、作業所、グループホームもでき、街には移動支援のヘルパーさんと出かける人の姿も日常的に見られるようになってきました。
このように進んだ面もあるのですが、課題の一つに障害のある人の高齢化、それに伴う親の高齢化により、24時間、365日支援が必要になるケースが増えてきています。障害福祉だけにとどまらず、まさに、医療、介護、との連携なくしては地域での生活が守れない事態が起こっています。事業所間の連携はもちろんのこと、人と人とのつながり、「絆」が重要になってくるのだと思います。これからも、今までのように、よろしく願いいたします。



社会福祉法人 宇治東福祉会
宇治市障害者生活支援センター「そら」
センター長 鳥羽 耕造

Title

この度は開設10周年 心よりお祝い申し上げます

宇治武田病院 退院支援室一同

退院支援させて頂いた患者さまを安心して託せる事ほど心強いものではなく、感謝の気持ちでいっぱいです。病院と在宅、アプローチの仕方は異なりますが、これからも患者さま・利用者さまに同じ志で寄り添っていきたく存じます。
お身体にご留意され、さらなる活躍を心よりお祈り申し上げます。

宇治武田病院 高山 知子

以前、訪問看護を利用させて頂いた事があったのですが、家族以外に頼れる訪問看護の存在は、在宅生活を続ける大きな心の支えになりました。医療者としてだけでなく、利用者としても感謝の気持ちでいっぱいです。





京都府立洛南病院
相談員 山内 陽子

Title
絆さんとの10年、10周年おめでとうございます

絆のスタッフの皆様には以前から大変お世話になり、頼りにしておりましたので、ステーションを開業されて早々から何人もの患者様の訪問をお願いさせていただいておりました。そう思うと10年以上（20年未満だとは思いますが・・・）のお付き合いになるのかと思いつく時の流れの速さを感じます。

願っている患者様は認知症の方や精神疾患の方など幅広く、様々な年代の方がお世話になっています。当院は精神科救急をしているため、多くの方が比較的短い入院期間の後、地域に戻っていかれますが、当院には訪問看護の部門がありませんので、退院後の支援を地域の訪問看護ステーションにお世話にならなければいけません。

スタッフの皆様にはいつも患者様に親身になって寄り添っていただいていますので、患者様から信頼の声を聞かせることが多く、「是非、次の患者様もご依頼したい」と思いますが、お忙しいので最近はいっつも遠慮してしまうことも多くなっていることに気づきました。

コロナ渦での訪問には非常に神経をすり減らしておられることと思われ、非常にお忙しくされていると思いますが、これからも末永くお世話になれたらと思っています。厚かましいお願いをさせていただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



NPO法人おはな
代表 森田 浩史
スタッフ一同

Title
安心して、頼れる

絆さんを知ったのは確か、おはなが設立準備をしていた2011年年末ごろで、地域のことを知るための六地藏のある団体さんとの会話の途中で「あっちさんっていうパン屋さんの並びで黄色い看板の絆さんっていうところがある」と教えてもらって開所後に挨拶に行かせてもらいお付き合いが始まりました。

「地域の中で訪問看護を！」という、おはなと同じ思いをお持ちで、一緒に秋まつりを開催したことも思い出深いですが、やはり事業所共通のご利用がおられる際に、体調のことで悩んだときに新たな視点をいただき落ちていくケアができて、ご利用者が亡くなられたときには、グリーンケアについての合同勉強会をしていただき、ご家族とおつきあいについても教えてもらえました。

カフェのぐりぐりを始めてからは、毎週スタッフさん分のお弁当を購入くださって、嬉しいご感想をいただけて、スタッフの励みになっています。

こんなに近くに、「安心できる、頼りになる」訪問看護ステーション絆さんがある当法人は、とても幸せです。今後の動きにも注目が集まりそうですが、絆さんがあるこの地域は安泰だなと感じています。いつもありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。



医療法人栄仁会
ケアプランセンターおうばく
所長 中村 里志

Title
創立10周年 おめでとうございます

時が流れるのは早いものですね。管理者の金澤さんをはじめスタッフの方々とは創立以前から仕事を一緒にさせていただき、頼るばかりでした。また、利用者様およびご家族様から新規に訪問看護の依頼を受けた時、主治医の先生にこの訪問看護事業所を調整しようかと尋ねれば多くの先生方が絆さんに連絡してみようと言われました。本当に信頼されている事業所なんだなあと感じておりました。また、利用者様の状況の報告や助言等もまめに頂けて、利用者様も安心して看護を受けて来られたと思います。私たちケアマネジャーが在宅支援をする中で重要なサービスである訪問看護、その中で絆さんと一緒にさせていただいたことは私にとっても貴重な体験となりました。お互い意見を交わし、ぶつけ合ったこともありましたが、気軽な気持ちで会話できる存在であったと思います。これからも在宅支援で一緒にできる事をお待ちしております。本当におめでとうございます。



日野みずの里居宅介護支援事業所
管理者 平 修一

Title
Congratulation on 10th anniversary !!

開設10周年誠におめでとうございます。10年という節目を迎えられたのも、皆様の人柄、看護に対する熱い思いがあってこそと存じます。思い返せば10年前に挨拶に来られた時の事を改めて思い出し、「月日が経つのは早いなあ」と感じています。ケアマネジャーの間でも評判は広がり、「絆さんに任せていたら安心やで」という言葉を耳にします。訪問中に、車、バイクで町を颯爽と走っている姿を目撃し、負けじとバイクで走っています。目まぐるしく変わる世情の中、お忙しい日々をお過ごしと思いますが、お体に気を付けて下さい。そして、今後ますますのご活躍を祈念しております。これからもたくさんの依頼をしたいと思っていますので、一緒にお仕事を宜しくお祈り致します。



医療法人社団 神野医院
ヘルパーステーションライブ
管理者 佐竹 登

Title
訪問看護の心強さ

開設10周年おめでとうございます。これまで訪問介護の利用者様宅で支援させていただいた際に絆の看護師さんと連携する機会を何度も経験させていただきました。ヘルパーにとって利用者様の体調不良を発見した時に訪問看護から対応指示をいただける環境がどんなに心強いことか。どれほど経験を積んだヘルパーであっても体調不良の利用者様を目の前にするとどうしても焦りに陥ります。早く体を楽にしてあげたい、少しでも安心してもらいたいと気が焦ります。利用者様にとっての訪問看護ではありませんが、ヘルパーにとっても精神的な支えであり、迅速に連携が取れる頼みの綱として心強い存在であります。利用者様宅で顔を合わせることは少ないですが、普段は連絡事項を共有するノートなどでメッセージを通して訪問看護師からの心遣いを感じています。緊急時に利用者様宅に駆けつけていただくことになった時には、やはり頼もしく感じます。これからも利用者様の支援を通じてお互いに支え合える存在でありましょう。



合同会社 L・C・Y
ヘルパーステーションみやこ
管理者 三上 剛史

Title
この度は、開設10周年おめでとうございます

絆さんには、みやこの設立当初から、一緒に仕事をさせて頂いております。当初から現在に至るまで、事業としても、ヘルパーとしても、未熟な私達ではありますが、いつも適切なアドバイスをして頂く事で、現在のみやこが有ると思っています。一緒に仕事をさせて頂いておりますが、絆さんが担当して下さっていると何かと心強く、安心して支援に入らせて頂く事が出来ています。利用者様からも、絆さんは良くして下さいとお声を、多く耳にします。今後とも末永く、よろしくお願いいたします。お忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、皆様、御身体ご自愛ください。これからもさらなるご繁昌とご発展を お祈りいたします。



社会福祉法人くらしのハーモニー
訪問事業部
部長 大石 清子

Title
いつも助けてもらってます

この度は、訪問看護ステーション絆の開設10周年おめでとうございます。デイサービスセンターハーモニーはたに介護の指導に来てくださり、ご利用者に寄り添ったケアの神髄をハーモニーに浸透させてくださった金澤さんが訪問看護ST絆を開業され、ワクワクしたことを思い出します。そして、その5年後、訪看STを持たないハーモニーが定期巡回・随時対応型訪問介護看護（定巡）を開業するにあたり『訪看STとの連携契約』という高い壁に当たった時も、ハーモニーの拘りに共に歩んでくださることを願って『絆』さんをお願いしたところ快諾くださり無事に開設することが出来ました。あれから5年。絆さんと共に歩み始めた定巡は、医療の視点が入る暮らしに変化をもたらす如何に重要であるかを痛感しながら、今では多くの訪看STさんと連携しながら多くのご利用者様と出会うことができました。これからも住み慣れた場所でご本人の人生観に寄り添いながら安心して暮らして頂けるケアの在り方を模索して参りますので、ご指導のほど宜しくお願いします！



CLAY STUDIO くり
栗田 千弦 さん

Title
「絆の思い出」

この度は10周年、誠におめでとうございます。「絆」そして、金澤さんの思い出を少し綴らせていただきます。私は滋賀県信楽町で器の店を営んでいます。金澤さんとは先代である父の存命中からのお付き合いです。毎年6月の周年記念には記念品をご注文頂き、器好きの金澤さんと内容を相談させて頂くのも楽しいひとときです。一番記憶に残っているのは、1周年の記念に泡文字カップ（ビールを注ぐと底に描いた文字が泡になって浮かび上がる）をご注文頂いた時のこと。焼き上がりをお見せしたら「あれ？絆の漢字ちょっと違うね」と。糸偏に「半」だと思い込んで30数年、まさかのご注文品での失態でした。朗らかな金澤さん、大切な屋号の字を間違えた私を笑って許して下さいました。朗らかな人の周りには温かい空気が満ち、集う人たちの間に温かい絆がうまれることと思います。11年目からの「絆」が益々発展し、20年30年と続いていきますように、記念品のバリエーションを増やしつつ、お祈りしています！

10周年の記念品は温かみのある絵柄のカップ



From :

ご利用者さま、ご家族さまより

温かいメッセージをいただきました

10周年おめでとうございます

私たち家族が絆さんにお世話になったのは母が突然脳梗塞になり、入院を経て自宅での生活が始まった頃です。まだまだ元気だった父が自らケアマネジャーさんを依頼し、ケアプランを立てる中で「訪問看護」をお願いすることになりました。ただ、母は他人が家に入って来ることをあまり好まず、思案しながらのスタートでした。

それから週一度の訪問でしたが、母だけでなく父にも関わって頂くことになり、絆さんとのつながりが始まりました。

父が「背中が痛い」と言えば揉んでもらい、湿布を貼ってもらいました。また、「お腹が痛い」と言えばお腹をさすり、便が出るように浣腸をして痛みを和らげてもらいました。訪問時間は短時間ではありましたが、看護師さんに来てもらうことで、父の不安をいつも解消してもらいました。母は毎週の訪問時間を楽しみにするようになり「軽い運動をしたよ」「お薬カレンダーを準備しなきゃ」と訪問してもらった時のことを嬉しそうに話してくれるようになりました。当初は私も仕事をしていたので看護師さんにお任せすることばかりでした。

父も母娘以上に絆さんを信頼し何か困ったことがあればすぐに連絡し対処してもらうようになりました。その中で母は2度股関節を骨折しました。その時にもすぐに駆けつけてもらい「病院に行きましょう」とオロオロする父と私に指示をし、病院に連絡を入れて救急車の対応してもらいました。どうしたらいいかわからない家族をいろいろな面で支えてもらいました。

その母は昨年3月に91歳で、後を追うように父は9月に94歳で亡くなりました。母は股関節骨折の入院のまま自宅には一度も帰れず、またコロナ禍で面会がままならず会って励ますことも出来ず寂しく一人で逝かせてしまいました。コロナ禍もありましたが、娘として母を家に連れて帰り看取れなかったことに後悔は募ります。そんなことがあり父には自宅で過ごしてほしいと望んでいました。娘一人では、父を見ることに不安がありましたが、ケアマネジャーさんやヘルパーさん訪問看護師の皆さんに私が励まされながら家族のように多くの手で父を見守ることが出来ました。父の最期には皆さんに声をかけてもらい、多くの人々に囲まれて幸せな時を迎えました。母にもこんな幸せがあったらよかったです。

父や母の晩年は絆さんの関りで素敵な時間をいただきました。父の不安を解消してもらい、母には話し相手になってもらい娘以上に関わっていただきました。今更ながら感謝しています。父や母だけではなく、私への支援励ましは大きな力になりました。

今後も多くの家族の支えとして活動いただけるよう応援しています。

岡田 登茂子 さま

十周年お目出とう御座います

今日は 訪問看護の金澤ですと 喜多です
よろしく御願います と縁の始り
診察を受けながら金澤さん この事業を始めます よろしくと……
私は思わずよかったねと
三年は苦しい 石の上にも三年と言ふ事です
頑張っただけでねと話した事が昨日の様に思います
其の後 絆さんに御世話になり早や十年
私も九十才を向え老化を感じる日々ですが
絆さん看護(小辻さん)に いたわってもらい
身心ともすこやかに幸な毎日おくり
有がたく思っ居ります
今後共よろしく御願います
絆の皆様頑張れた証の十年
本当にお目出とう御座います

喜多 エイ子 さま



片山 勝雄 さま

まさお

十年は序章 絆は永しえに
ヴィーナスもナイチンゲールも居て絆

私が出合った「絆」家族の感じた「絆」故人も悟った「絆」

それは、私の「母」が90歳を超えようとしていた頃。デイサービスにも慣れてきた日々ではあったものの、些か「覚束なくなり候」が顕著になってきていた。そんな時、「要介護・要支援」にと、金澤さんが来ていただきました。(時折、感情の起伏が大きくなり、「難儀」をする)老母に、優しく穏やかに「下のこと」も厭わずに、話し相手になるように、温かく「対応」いただきました。とても、有難く、安堵したことを憶えています。

また、小辻さんは、まるで「孫」のように…… 「〇〇さあ〜ん、来たよお〜」、 「きょうはエエお顔してはるねえ〜」などと明るく親しみをもって接してくださいました。老母の歓迎している様子が嬉しく、家の中が明るくなりました。

ある時、ベッドの柵を外し、老婆の洗髪シャンプーをすることとなり、あろうことか、その助手??を努めるはめに「しかし、その時の「手際」に介護の(プロの神髄)を察しました。老母の気持ち良さそうな柔和な表情が印象的なことは、云々でもありません。

さて、介護や介助も、毎日となると大変です。 デイサービスの見送り(出迎え)、着替えや常用薬の準備、子どもの遣いでは済まされないものばかりです。何よりも、日常の食事や排便・入浴、手足の爪切り、布団やベッドの世話、もちろん洗濯物など、春夏秋冬も、毎日毎日ボクラはテッパンの「ト」と唄いたくなるような、日々際限の無い、繰り返しの生活だから…… でもね、少しずつだんだんと「やるようになり」「やれるようになり」。周囲も僅かに成長を。想えば、何とんでも老番の<介護人>は、家族なんだからと考えるように「いや、想えるように」それもこれも、「絆スタッフ」の仕草、言葉かけ、姿勢などから、一つ識り、二つが分かり、いつの間にか教えられていったように思います。

そんな「老いたる母」が逝って、1年半。今度は、「娘・二女」の最終章をお世話になることとなりました。

突然の夜分の呼び出しに「度々」の「お救けコール」に「時間を問わず、バイクで車で、駆け付けていただきました。動きのとれない「娘」の髪を可愛らしく「ポニーテール」に結って、ベッド生活の日常に、弾みを持たせてくださいました。「おとうさん、大丈夫ですか?」「おかあさん、頑張らましょね!」いつも気遣いや励ましの声かけもいただきました。【娘】が、<閉じた> 時は「皆さんの手でお風呂に入れて「送り人」となり、美しく「旅の支度」を整えてくださいました。

万福さん、嶋崎さん、北村さん。「絆」スタッフの皆さんに感謝を申し上げます!

お世話になった数々のこと、そのどんな時もが、「献身」でした。故人はもとより、家族にとっては、とても有難い心強い「支援」でした。ともに携わっていただいた日々や時間には、多少の長短はあるでしょうが、互いに過ごした「大切な命の生活」で育まれた気持ちこそが、「絆」そのものと懐かれます。

この先も、絆スタッフの皆様が健康で、お仕事を続けられますように「更なるご活躍ご発展を念じております!」

毎日、ボオ〜と生きている老い惚れより愛を込めて
【ワクチン1回目の夜に】

根岸 憲明 さま



「絆」さんとの出会いは、義母の認知症が進む中で担当のケアマネジャーさんが紹介して下さいのおかげでした。

そして、義母の最期を看取った後、続いて娘がお世話になりました。

「絆」の皆さんは、どなたも明るくて優しく、そして看護師としての仕事も素晴らしいのです。責任感の強さも感じました。

また、患者への寄り添いは、仕事だからという以上に気持ちの温かさが感じられました。患者が喜ぶこと・嬉しいことを、家族と共に考え、アドバイスして下さいました。また、患者だけでなく、家族の気持ちにも寄り添って下さり、助けてもらったことも少なくありませんでした。

残された家族が、その後の日々を心穏やかに暮らしていけるのは、最期を迎えようとしている患者とその家族が、「最期」とどう向き合うことができるかだと思います。「絆」の皆さんのお陰で、悲嘆にくれることなく、故人との楽しい思い出を胸に今日過ごせてお本当に感謝しております。

「絆」の皆さんとの出会いをこれからも大切にしていきたいと思っております。ありがとうございました。

根岸 京子 さま



訪問看護 ステーション 絆 スタッフ

【好きなこと】
お日様の光を
いっぱい浴びた
布団で寝ること



万福 満喜子

2011年入職

利用者さんと共に歩んだ10年 これからも歩み続けます！

絆の訪問看護師として働くようになって10年。この10年を振り返ると長かったような、しかし、あっという間の10年だったように感じます。この10年で本当に多くの利用者さんとの出会いがありました。利用者さんの思いに寄り添いたい、自分や自分の家族がしてほしいと思えるような看護をしたい、訪問させてもらうことでほんの少しほっとしていただけるような看護がしたい。と思いながら日々を過ごしています。しかし、自分の力不足で思うような看護ができずに悔しい思いをしたり自信を無くし落ち込んだりすることも少なくはありません。でも、そんな時に不思議と利用者さんから温かい言葉や元気をもらったりしてもう一度前を向くことができているように思います。絆にはいろんな仲間がいますが、みんなが同じ思いを持って利用者さんに関わろうとしています。一人では困難なことも皆で話し合い助け合うことで『自分たちのしたい看護』ができると、信じてこれからも前を向いて歩んでいきたいと思っています。

【座右の銘】
明日は明日の
風が吹く



北村 有紀

2013年入職

いつか「天職」と言える日が来るといいなあ

デイサービスで看護師をしていた当時、「最近の看護の知識を学びたい」と思い、たまたま受講したのが『訪問看護師養成講習会』でした。その受講をきっかけに訪問看護に対する興味が増し「おひとりおひとりとゆっくり向き合いたい」との気持ちも高まり、その後ご縁で絆に就職、気が付けば8年半が経ちました。

と、ここまで書いてきて「8年半!?もうそんなに?」と驚いています。日々の訪問では嬉しいことや楽しいことがたくさんある一方で、辛いことや悲しいことにもしばしば遭遇し思い悩むこともたくさんあります。それでもこの仕事に就いてから一度も「辞めたい」と思うことなく今に至っていることが、とても幸せなことだと改めて感じています。

これからも初心を忘れることなく一回一回の訪問を大切に、一日一日を積み重ねていきたいと思っています。

【座右の銘】
笑いは人の薬
ピンチはチャンス



小辻 奈美

2016年入職

今日も笑顔でお邪魔します！

不思議な縁に導かれ社会人から看護師となり訪問看護師として8年。そのうち絆で4年が経ちます。洗練されるどころかどんどん深みにはまる毎日。一度きりの人生を思い切り好きなように生ききる、を支える絆の訪問看護。既存の看護の形を柔軟に整え、最後まで伴走する看護師として在る個性豊かな絆スタッフに日々学びつつ、共に仕事ができる喜びは大きいです『病気を治すことは難しくとも、本人・ご家族の苦痛を和らげる環境はいつだって作ることができる』という言葉がいつも胸にあります。そうした環境は一人では作れませんが、チームで知恵を絞れば実現可能です。その経験は積み重なり、自分や絆だけでなくやがて地域の財産となり、誰もが安心して暮らせる街づくりにつながる、と信じて夢見ています。

様々な価値観を持つ人と絆を結び、育てて形にできるよう、利用者様と仲間たちと一瞬一瞬の時間を共有できることにしっとりと感謝して今日も笑顔でお邪魔します！

【座右の銘】
焦らず、くさらず、
あきらめず



廣田 妃美

2020年入職

一年を振り返って

この間、在宅看護に足を踏み入れたと思っていたのですが、あっという間に一年が経っていました。病棟での実務経験がない私にとって、看護学生での実習以来、行うことがなかった処置やケアばかりで、一から勉強をやり直すところからのスタートでした。失敗する事も多く、落ち込む日々でしたが、挫折することもなく続けられてこられたのは、優しく、時に厳しく育てて下さった絆の諸先輩方、温かく見守って下さった利用者様、ご家族様の支えがあったからです。ありがとうございます。

今後は利用者の方が健康を取り戻し、質の高い生活をおくるためには、何が必要なのか、また、安心して在宅での生活を維持していくためにはどうすれば良いのか、考え、行動していきたいと思っています。

まだまだ経験不足で分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、精一杯努力し邁進していきたいと思っています。



利用者さんとの
★ 初めのお散歩 ★



小辻ナースのお誕生日を
絆メンバーでお祝い♡

【好きなこと】
利き酒
(利けてませんが、)
銭湯めぐり



太田 靖子

2020年入職

1日いちにちの看護をコツコツ、未来に…。

絆へのご縁を頂いてから約1年。利用者の方々、関係職種の皆様、何でも相談できる先輩ナースの方々に支えていただき、訪問看護が続けられることに感謝です。同じ日は1日もなく、その方の身体の状態や心の動き、表情、その時々言葉…日々たくさん学ぶことがあり、より多くを感じ取っていかれたらと思います。利用者とその家族の方々やケアをアレンジしつつ、時間を共にして重ねていけることは、看護師としてとても幸せです。

私は家に帰れば一介護者です。悲喜こもごも、大なり小なり葛藤や悩みが尽きません。でも一つの言葉かけや、ちょっと手を伸ばしてもらったことで救われることが多々あります。そんな日頃の介護経験も活かしつつ、いろんな“糊しろ”を持った看護を目指していきたいです。昨日より今日、今日より明日、「次はこんなことも挑戦してみよう!頑張っね!」と利用者さんやご家族の想いを乗せて、未来の自分へバトンを渡せたらと思います。



焼きそばパーティー!



10年目にして『トイレ壊れた事件!!』
何とか応急処置しました



夏を乗り越えるため
美味しいお肉を食べに行きました★



新年を祝って地元の料亭の
美味しいお弁当をいただきました



北村ナースのお誕生日を
絆メンバーでお祝い♡



新田顧問が作ってくれた
Junko食堂のお弁当
絆メンバーだけが食べられるパワー弁当



10周年！おめでとうございます

事業所の名称を一緒に考え「絆」にしようと思ったのが東日本大震災の2ヵ月前でした。

金澤代表は、訪問看護の経験を活かして独自の事業所を持ち在宅療養を支えたいという強い意志のもと、前勤務先を退職して独立された経緯があり、私は陰ながら応援時には声をかけながら見守って来ました。利用者及びご家族の皆さんを中心にかけつけ医の先生方、ケアマネジャーをはじめサービス事業者の皆様方、そして地域の民生委員さんや自治会の皆様たちと密に連携しながら常に一番の良策を模索しながら生き生きと働くスタッフ達。何と頼もしいことかと目を細めて眺めるこの頃です。又、在宅を支えるチームの皆さんとしっかり繋がりが「絆で結ばれている」光景かとも思います。

私事、訪問看護やケアマネジャー勤務を経て、宇治市介護保険課で8年半余りをケアマネジャーさん達と一緒に学ばせて頂きましたが、2020年5月より、看護協会事業の「くらしあんしん療養相談室・絆」で相談を担当、名ばかり顧問のお役目も頂きました。

市民の皆さんや専門職の皆さんからの何気ないご相談から繋がってより良い地域ができることを願いつつ「訪問看護ステーション絆」の更なる発展をいつかお世話になるその時迄お手伝いしながら見守り続けたいと思います。



株式会社 絆
顧問・相談員 **新田 順子**

きんさん、ぎんさんの
季節に合わせた
お衣装作りの
担当もしています！



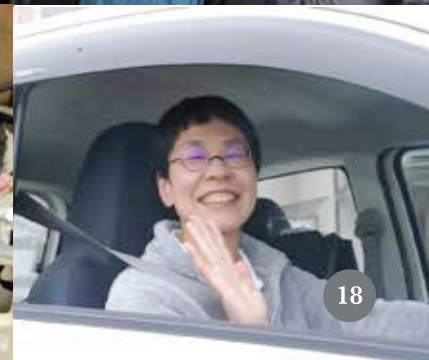
秋の運動会
秋空の下で元気に運動会の開催です！



桃の節句
あられ、ひし餅、甘酒も
アクリル板を挟んで頂こう！



端午の節句
春の気持ちいい風が
こいのぼりの風車を勢いよく回しています



編集後記

5周年の記念パーティが終わって5年、10周年には何か記念に残るようなことがしたいねと、スタッフ間で検討し記念講演会をしようということでも話がまとまりました。

ところが、10年目を迎えようとしていた頃から新型コロナウイルスの感染拡大が第5波まで続き結局、実現出来ませんでした。そこで、何か記念に残ることをしようと記念誌を発行することとなりました。

10年間で振り返りながらお世話になった先生方、ケアマネジャーやサービス事業者の皆さん、訪問看護ステーションの仲間をはじめ地域の皆様方と次々に浮かんできました。寄稿のお願いには快く受けて下さり『感謝』の一言に尽きます。しかし、お世話になりながらも漏れてしまった方々には深くお詫びいたします。どうかご容赦くださいませ。

新型コロナウイルスの出現により非日常が日常に変わってしまったこのタイミングで「訪問看護ステーション絆」が10周年だったことを記憶していただければ幸いです

2021年 11月



編集委員長 万福でした

10th Anniversary

訪問看護ステーション 絆

きんさん、ぎんさん ベストセレクション！



夏の盆踊り
早く盆踊りや祭りかしたいね



Merry Christmas
皆さまが素敵なクリスマスと新年を迎えられますように...



ハロウィンパーティー
トリックオアトリート！